

第二項 測的操式

測的ノ起源及發達ハ砲術科ニ負フ所大ナルモノアリ從ツテ測的術ハ砲術ノ一分屬作業ナルガ如ク思惟セラレツツアリシ時代アリシガ魚雷射法敷設法、掃海法等ノ進歩ト共ニ水雷科ニ於テモ測的ヲ要スルコト砲術科ニ讓ラザルニ及ビ一層測的術ノ發達ヲ要望スルト共ニ各科ニ共通普遍スベキ教令規定ノ必要ヲ生ジ茲ニ測的操式、測的教範等ノ出生ヲ見ルニ至レリ昭和二年五月内令第百八十二號ニ依リ發布ノ測的操式草案ハ其ノ第一草案ナリ之ヨリ先大正十四、十五年度主トシテ聯合艦隊ヲシテ試用セシメラレタル測的操式草案ハ概ネ適當ナリシモ尙研究ヲ要スルトコロアルヲ以テ當分ノ間操式草案トシテ試用シタル後操式トシテ制定セムトスルモノナリ

本草案ノ上記聯合艦隊試用ノモノト異ル主要點左ノ如シ

- 一、測的操法ノ一部ヲ改正ス
- 二、新ニ基本測的操法トシテ測的兵器使用ニ關スル各個ノ操作ヲ規定ス
- 三、其ノ他全般ニ亘リ一部ノ小改正ヲ行フ

本草案ノ内容ヲ左ニ摘示ス



總 則

- 一、本操式ハ測の指揮系統及之ニ屬スル諸機關ノ權限竝ニ測的部員ノ操作ヲ規定ス
- 二、本操式ハ戰艦ニ就キ規定ス戰艦以外ノ艦船ニ在リテハ之ヲ準用スルモノトス
- 三、本操式ハ測的部員ヲ訓練戰闘諸種ノ情況ニ應ジ艦ノ運動射擊及發射等ノ際能ク其ノ要求ニ適應セシムルヲ以テ本旨トス
- 四、測的ノ精粗ハ直ニ射擊發射ノ効果ヲ左右シ或ハ艦運動ノ適否ニ至大ノ影響ヲ及ボス故ニ測的部員ハ深ク其ノ責務ノ重大ナルヲ自覺シ確固不拔ノ精神ヲ養ヒ冷靜沈着其ノ目的ヲ遂行スルニ遺憾ナキヲ期スルヲ要ス
- 五、本操式ハ射擊操式、魚雷發射操式及測的教範ト相俟チテ其ノ効用ヲ全フス

目 次

- 第一章 測的指揮系統及其ノ編制
- 第二章 測 的
- 第三章 測的操法
- 第四章 基本測的操法
- 第五章 附 則